



## 【核不拡散防止条約】再検討会議 が開かれた国連本部のあるニューヨークへ行ってきました

メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

成田空港で班編成（班長 渡辺正博）をして、ニューヨークでの行動は、班ごとを基本とした。



長野県と千葉県の混合チームの9人

・なかなか・署名に  
応えてくれない  
ニューヨークカー

現地 4月26日、班員9名で署名行動、場所は「セントラルパーク」のロンバスサークルで行うことを決め署名行動を始めたらいきなり警察官が来て、この場所はダメ（英語）だと注意され、歩道に移動し、署名行動。

言葉の壁、アピールの工夫不足なのか、なかなか署名に応じてくれない・・・。「ノー・ノーサンキュー」結果9人で1時間がんばったが署名は9筆でした。

私は2筆（とても読めないサイン）という結果でした。（めげた・・・。日本の場合「契約」はサインとハンコ。でも外国はサインのみです。

サインをするという行為に違いがあるのかな〜とも・・・思いました）

【六百三十三万六千二百五】筆届ける

午後は、「核兵器のない世界のための国際行動デー」として、ユニオンスクエアで（とても長い）1時間30分の集会終了後、国連本部に近いハマーショルド広場までのパレードです。

「数千名（一部報道では7500人）」ここで、国連のアンゲラ・ケイン軍縮担当上級代表と再検討会議のタウス・フェルキ議長に届けることが私たちの今回の最大の目的でした。署名6336205筆（目録）を受け取ったアンゲラ・ケイン氏は、「会議に出席する各政府代表がこの署名の込められたメッセージを心に刻んで会議に臨むことを期待する」また、フェルキ議長は「署名



上田市から5人が、長野県からは28人が参加しました

核兵器の非人道性を訴えるパネル展

を歓迎するとしうえで、核兵器の廃絶は国や政府だけの仕事ではない。政治的な意志が必要で、最終的には国民の力による」とそれぞれ述べました。（普段歩かないのでもう広場に着いたときははらふらでした。そして人、人、人、広場でのセレモニーのあと上田市役所のメンバーと食べた中華料理これがまた美味しくなかつたから疲れは3倍・・・）

国連本部では、再検討会議に出席する各国代表にアピールしようとして一階ロビーで、日本原水爆被害者団体協議会による、原爆パネル展が4月28日から始まっています。

### わたなべ正博のノート

- 2日 議会正副委員長会議
- ・ 議会同派代表者会議
- ・ 千曲川水文化議員連盟研修会
- 3日 平和行進実行委員会
- 4日 長野大学公立化について聞き取り
- 5日 令子ちゃんお見舞い「佐久医療セ」
- ・ リサーチパーク管理組合総会
- 6日 水路草刈り
- ・ 東塩田小学校運動会
- 7日 「戦争法案」反対集会「長野市」
- 8日 上田駅モーニングスピーチ
- ・ 観光議員連盟専門部会
- ・ 森谷明仙書画展実行委員会
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 生協診療所定期検診
- 11日 獅子舞保存会三役会
- 12日 生活相談「工事現場立ち会い」
- 13日 獅子舞舞手要請「個別訪問」
- ・ モルティ塩田街頭宣伝
- 14日 新池草刈り
- ・ 議会開会日議員懇談会発言準備
- ・ 浅間池代表会
- ・ 水土里まもり隊役員会
- 15日 6月議会開会
- 16日 質問準備
- 17日 塩田選出議員連盟会議
- 18日 質問準備
- 19日 質問準備
- 20日 医療生協総代会
- ・ メガソーラー視察
- ・ うえだ給食まつり
- 21日 ポンプ操法上田大会
- ・ 東塩田交通安全協会表彰式
- 22日 上田駅モーニングスピーチ
- ・ 6月議会「一般質問」
- ・ 24日までの三日間「一般質問」
- 25日 平和行進実行委員会
- ・ 原水爆禁止世界大会参加準備会
- 26日 陽だまり相談会
- 27日 モルティ塩田街頭演説
- ・ 民主商工会総会
- 28日 中学同級会「戸倉上山田温泉」
- ・ 常任委員会質疑準備
- 29日 議会産業水道常任委員会
- 30日 別所線存続期成同盟会総会

【6月】







一階の広いフロア全体に原爆パネル

われ、日本原水協の代表団1053人が一堂に会しました。討論は、核兵器禁止条約の交渉開始を求める世論と運動をさらに前進させて再検討会議を後押ししようというものでした。

### 政治家が恐れるのは 私たちの声

「633万余の署名は世界189ヶ国の政府代表に伝えられた」被爆70年を核兵器廃絶の転換点にするためさらに足をふみだそうと訴えがあり、パネリストのドゥアルテ元国連軍縮問題担当上級代表は「みなさんの署名が禁止条約を求める重要な力になっている。核兵器廃絶こそ核兵器を使

用させない唯一の保証」と述べ、政治家が恐れるのは私たちの声です。行動し続けてこそ核兵器を廃絶する力であることを確認しました。

（署名慣れしている我々にとって、あらためて気づかさされた署名のもつ力）



UNITED NATIONS

### 核兵器廃絶の「仕組み」合意できず

再検討会議最終日「5月22日」前日（5年前）の会議では、目標の第一に「核兵器のない世界」の達成をかかげ保有国が「自国の核兵器の完全廃絶を達成する」こととして、核兵器廃絶の仕組み（枠組み）を確立する「特別な努力」を行うことを合意しました。

今回は、保有国にこの合意を履行について迫る会議でしたが、最終文書案にアメリカ、

イギリス、カナダが反対し全会一致が原則の最終文書案は、採択できずに会議は閉幕しました。

### ニューヨークから 広島・長崎へ

ただ、最終文書案が当初、核兵器禁止条約に始めて言及したことは大きな変化です。最終日には多くの国から「核兵器の非人道性への強い支持」が示された。

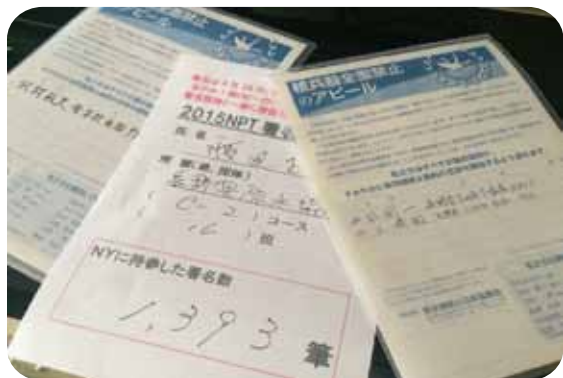
「再検討会議の議論の基調を大きく変えた」「今回の会議で行われた努力がここで終わるわけではない」「国際法を守ろうとする動きを止められる勢力はない」など不採択となったことを受けての討論がありました。

核兵器廃絶を求める声をさらに大きな流れにするうえで、被爆70年の原水爆禁止世界大会に世界は注目しています。大きく成功させて、核兵器に固執する勢力をさらに追い詰めたい……。

【次号はニューヨーク番外編】

### 署名が禁止条約を求める重要な力に

日本原水協の国際シンポジウム「ともに核兵器のない世界の地平を開こう」もおこな



渡航直前に母袋上田市市長・井上副市長と北村青木村長から寄せていただきました

### 防衛省を防災省に

鹿児島県屋久島町の口永良部島（くちのえらぶじま）の新岳（しんだけ）で爆発的噴火があり、住民全員が島外に避難しました。昨年の御嶽山の噴火、今年の箱根・大涌谷での火山活動の活性化に次ぐ自然の猛威です。

東塩田小学校 新体育館



5/31 上田市消防団 第15分団



日本は自然災害の多い国です。国民の生命と生活が危険にさらされる本當の脅威は、実はこのようなところにあるのではないのでしょうか。

本来、政治が対応しなければならぬ「そこにある危機」を忘れ、災害対策を後回しにして原発の再稼働をめざし、自衛隊の海外派兵実現のために執念を燃やしているのが、今の安倍政権です。相次ぐ火山の噴火は、このような政治のあり方に対して警鐘を鳴らし、本来のあり姿を取り戻すように警告しているのかもしれない……。